令和４年度　（一社）犬山祭保存会理事会　第６回　議事録

●日時

令和４年１月２１日（土）　１９：００～２０：３０

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房　２F

●出席者（敬称略）

【常任理事】会長（石田）、会長代行（多和田）、副会長（長谷川、大澤、小林）、会計（下山）、伝統文化委員長（市橋）、伝統文化副委員長（長井）、てこ委員長（浅野）、てこ副委員長（吉田成伸、陸浦）、企画広報委員長（松田）、企画広報委員長代行（斉木治郎）、企画広報副委員長（柴田、林）、からくり文化振興部長（加藤）、専務理事（溝口）

【理事】枝町組理事（武藤）、魚屋町組理事（小川）、下本町組理事（松岡）、中本町理事（栗谷）、熊野町組理事（浅野）、新町組理事（坪内）、本町組理事（安田）、練屋町組理事（小島）、鍛冶屋町理事（市橋）、名栗町組理事（森）、寺内町理事（三輪）、余坂組理事（藤澤）、外町組理事（伊藤）

【企画広報委員】斉木美加、前田、梅田

【犬山市】歴史まちづくり課（加藤課長、市野主査）、観光課（小池課長、小林主事補）

【その他】愛知大学助教（佐藤先生）、保存会事務局（竹村）

●議事

Ⅰ．①会長挨拶　②報告事項

Ⅱ．議題

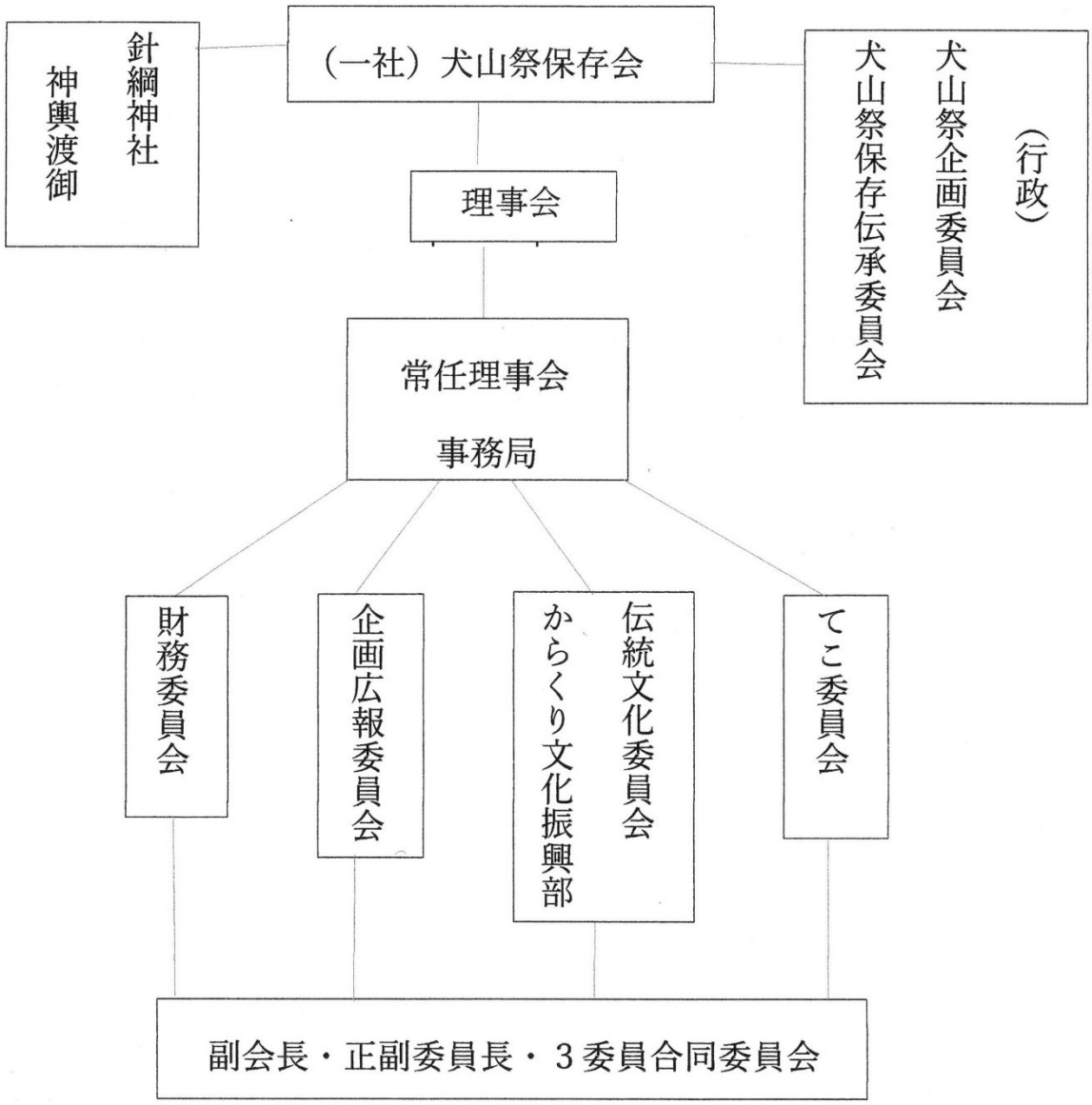
① 犬山祭保存会組織図について

② スケジュール

③ 協賛金について

④ その他

犬山祭・車山行事ネットワーク図



地域コミュニティをつなぐ・ひきつぐ・ささえる

令和5年　祭礼関係予定表　　参考資料

	1月		2月		3月		4月		
1	日		水		水		土	試楽祭	1
2	月		木		木	お札渡し式　針綱神社　10:00～ 関係諸機関会議　からくり館2階11:00～ 電線点検　13:00～	日	本楽祭	2
3	火		金		金		月	後片付け	3
4	水		土	三委員会合同正副会議　からくり館2階　17:30～ 理事会　からくり館2階　19:00～	土	理事会 からくり館2階　19:00～	火		4
5	木		日		日		水		5
6	金		月		月		木		6
7	土		火		火		金		7
8	日		水		水		土		8
9	月		木	常任理事会 からくり館2階　19:00～	木	常任理事会 からくり館2階　19:00～	日		9
10	火		金		金		月		10
11	水		土		土		火		11
12	木	役員会 会長宅　19:00～	日	知多・衣浦交流会 半田　雁宿ホール　10:00～	日		水		12
13	金		月		月		木	常任理事会 からくり館2階　19:00～	13
14	土		火		火		金		14
15	日	市史編纂協力Ⅰ　11:00～ 余遊亭(餅つき大会　11:00～)	水		水		土		15
16	月		木		木		日		16
17	火		金		金		月		17
18	水		土		土	理事会 からくり館2階　19:00～	火		18
19	木		日	三委員会合同正副会議 からくり館2階　15:00～	日	下本町修復披露 どんでん館	水		19
20	金		月		月		木		20
21	土	市史編纂協力Ⅱ 理事会からくり館2階　19:00～	火		火		金		21
22	日	三委員会合同正副会議 からくり館2階　15:00～	水		水		土		22
23	月		木		木		日		23
24	火	犬山祭企画委員会 からくり館2階　10:00～	金		金	祭礼合同会議　フロイデ　14:00～ 電線点検Ⅱ	月		24
25	水		土	企画広報委員会　からくり館2階　17:00～ 理事会　からくり館2階　19:00～	土		火		25
26	木		日	自警 19:50～	日	てこ固め式 14:30～	水		26
27	金		月		月		木		27
28	土	新春講演会 フロイデ　15:00～	火	幟立て 20:00～	火		金		28
29	日				水		土		29
30	月				木		日		30
31	火				金	前準備 14:00～			31

●配布資料

① 犬山祭・車山行事ネットワーク図
② 祭礼関係予定表
③ 新春講演会参加予定者
④ 知多・衣浦地区山車祭り交流会議開催のご案内
⑤ 犬山祭参加申込書
⑥ 平成３１年度試楽・本楽運行時間割

●議事内容

Ｉ.

① 会長挨拶

・会長： みなさんこんばんは。コロナもなかなか終息しそうにないので、皆さん気を付けて寒さを乗り切って頂きたい。その先に犬山祭がある。原則としては祭をやるという方向であり、流動的にその都度皆さんと相談しながら決めていきたい。現時点では正常通り行いたいということを皆さんにお願いして、スケジュールを見ながらご協議いただきたい。よろしくお願いします。

報告事項

・企画広報委員長：先週餅つき大会を実施させていただいた。準備から沢山の方に関わっていただき無事終えることができた。沢山の方にお越しいただき、盛況に終わったのでご報告させていただく。今回は日程の調整が難しく左義長と重なることもあったので、次回は皆さん参加できるような日程を練り直して企画していきたい。皆さんの親睦を図るということでやっている企画で、今回もてこの子供さんも餅をつくという光景も見られたので、今後も皆さんで参加していただけるような企画をしていきたい。よろしくお願いします。
・下本町理事：下本町屋根修復披露について。３月１９日にどんでん館にて受付させていただく。当日はコロナ禍のため立食パーティーは控えさせていただく。よろしくお願いします。

Ⅱ．議題

① 犬山祭保存会組織図について

・会長：従来やっていることを確認のために組織図にしたので、確認していただきたい。車山行事というのは、国の重要無形文化財やユネスコ無形文化遺産に正式に登録された、公式に認められた名称である。主体者は一般社団法人犬山祭保存会である。一般社団法人とは、法人が一種の人格を持つということですので、個人的なことでなく法人としての組織ということをよくご理解いただきお願いしたい。行政関係の犬山祭企画委員会は、行政がリードをする形で財政的援助をしていこうということで、犬山市、観光協会、犬山青年会議所、保存会が一体となって財政的な裏付けをしっかりしていくということである。犬山祭保存伝承委員会は、我々の車山の修理、幕や織物も含めた文化財の対象を修理する時にこの伝承委員会が修理の基準を認定する。非常に重要で、公的な修理費を使うので非常に権威ある委員会である。保存会からも人を派遣するが、基本的には行政主導の支援組織である。

そして我々の車山行事は針綱神社の例祭である。これは神社の、一年に一回神様の誕生日、創建日に例祭をやるものであり、その象徴が神輿渡御である。これも車山行事の大きなネットワークの重要な行事である。

一社の犬山祭保存会の最終的な組織運営の議決機関として理事会がある。町内代表の理事さんを含めた理事会でありここで最終的な議決をする。ここに上程する議案、計画案、企画案を練り上げるのが常任理事会である。ここで方針をほぼ決定する。

常任理事会は委員会制であり４つの委員会で構成されている。てこ委員会、伝統文化委員会、からくり文化振興部、企画広報委員会となる。

伝統文化委員会は町内のお囃子、からくりの関係である。からくり文化振興部は色々なところで活躍していただいているが、伝統文化委員会の活動の中

に含めたいと思っているので、活動の形態は今まで通りだが、委員会の制度としては二つを一括りに考えていきたい。

伝統文化委員会は小学校のからくり体験学習授業に行っており、非常に人気である。今後はからくりだけでなくお囃子もいっしょにやれないかと相談している。滋賀県長浜では祭の時に学校が休みになる。そういう学校がらみの祭りも全国にあるので、子供達のために犬山祭を一緒にやりましょう、という方向性も検討中である。皆様のご意見も承りたいと思う。

企画広報委員会の委員は、てこ委員会や伝統文化委員会も兼ねている。理事の方にも、是非入って頂きたい方もいる。４つの委員会の意見を、企画広報委員会でまとめて常任理事会で揉んで、理事会にあげるというシステムでやっていきたいと思う。

財務委員会は財務を担当する委員会である。それぞれの委員会と常任理事会と理事会は同じ人が兼ねる場合もあるし、情報の流通の為にも良いことではないかと思う。理事の皆さんは、町内で固定してくださいという希望は出しているが、なかなか実現されない。固定された人が企画広報に積極的に入って頂けると、議論も積み重なっていくのではないかと期待している。

４つの委員会の構成は、正副委員長で３委員会合同委員会として構成されている。この４つの委員会で犬山祭保存会の方針や企画を考えていただきたい。これから次世代の若者が中心になるので、若い人の意見が全体の運営、企画広報に反映されるような、常に持続可能な新しい感覚の保存会にしていきたい。

地域コミュニティをつなぐ・ひきつぐ・ささえるというテーマが我々が目指す方向であり、一般社団法人としての犬山祭保存会を立ち上げる時に、何のために犬山祭はあるのかというビジョンとして、皆さまと相談して決めたフレーズであり、常に心の片隅に置いておきたい。常に次世代のための祭を育てて引継ぎ繋いで、永遠の犬山祭を目指していきたい。

伝統を守ることには厳密に、しかし組織運営はオープンにしていく、というのが保存会の会員会費制度である。これはすぐには定着しないが、皆さんの議論を重ねながら、そういった広く開かれたオープンな組織運営にしていきたい。その都度皆さんのご意見を頂戴しながら、共通のコンセンサスを得ながら進めていきたいので、よろしくお願いします。

・専務理事：犬山祭企画委員会は、構成メンバーが、観光課、犬山祭保存会、観光協会、ＪＣとなる。また協賛金を集めるのに商工会議所は大変大きな役割を担っていただいている。

・会長代行：２月からは常任理事会を月１回行い、三委員会合同委員会で情報交換をして共有するという方向で進めていきます。

・専務理事：予定表について、時系列的に説明させていただく。1月２３日に三委員会合同正副委員長会議。２４日に犬山祭企画委員会。２８日にフロイデで新春講演会。常任理事会は毎月第二木曜日夜に南館２階で開催。２月１２日に知多衣浦交流会がある。

・伝統文化委員長：第２８回知多衣浦地区の山車祭交流会が行われる。毎年知多地区でお祭が各地で盛んにおこなわれており、合同で色々な事業をやろうということで山車祭交流会というものが行われている。内容はお囃子の発表会、からくりの披露、講演などを行っている。

犬山駅から電車で行く予定。電車賃は保存会負担であるが参加費は各自でご負担いただきたい。

・専務理事：2 月 26 日の自警の通達はてこ委員会の方でお願いする。月末の幟立ては企画広報委員会で考えていただきたい。

・会長：自警はてこ委員会がやっていただいているが、警察がとても感謝しており、先日、私が代表して感謝状をいただいた。てこの皆さんありがとうございます。

・専務理事：下本町のご披露が３月１９日にどんでん館にて行われる。１６町内は祝儀として３０００円持っていっていただきたい。

３月２６日に、てこ固め式を針綱神社にて行う。３月２日のお札渡し式は１６町内、針綱神社にて行う。３月２４日に祭礼合同会議をフロイデ３階で行う。町内から３，４名ほど参加していただく。また後日事務局から案内を通達させていただく。

② 犬山祭協賛金について

・会長代行：協賛金について、各担当の方に事務局から割り当て表をお配りしているが、もっと幅広く考えていきたいので、１６町内の理事の皆さんから情報を共有していただき、ご推挙いただけるところがあれば、事務局までご連絡いただきたい。

・専務理事：協賛金の各コースに関して、町内で払って欲しいということでなく、他所の新たなところを開拓していただきたいという主旨である。協賛金も三年前に集めて、披露がなされていないため二年間集めていないので、皆さんのご協力をお願いしたい。

・会長代行：ご推挙いただけるところがありましたらご連絡をお待ちしております。

③その他

・会長代行：１月２８日にフロイデにて商工会の新春講演会が開かれる。これは会長から、商工会と一体として保存会として何かやれないかということで、講演会に保存会も乗らせていただくという形でお話をいただき、対談をするということで、商工会も力が入っている。行ける方がいらっしゃったら皆さんにもご参加をお願いしたい。

・会長：毎年１月に商工会議所が新春講演会をやっていた。商工会の会頭に、犬山祭は地域経済のためでもあり、祭によって観光客が増えるしビジネスチャンスも生まれる、といったご相談をしたことから始まった。商工会からも、是非やってほしいとのことだった。犬山城下町は日々とても進化しており、それを絡めた話をしようということで、名工大の建築学者の若山滋さんをお呼びした。世界において日本の建築が特筆して他にないのは、木だけで組み合わせているところである。欧米の建築は上に積んでいく。しかし日本は木だけで伝統的建築物が使われている、ということで、若山さんも犬山にとても関心を持ってみえる。我々の車山は、動く日本建築である、ということもあり、ぜひ犬山で木造建築の話をしてくれないかとお願いした。山車は英語でムービングシュラインと言う。動く神社ということである、といったお話も聞いた。研究者として研究もしていらっしゃるので、是非、商工会の皆さんまた犬山祭に携わる人に聞いていただきたい話である。日本建築は柱を積み立てて、梁で横を繋ぐ。その上に屋根を置くのが大事であり、これは棟上げ式という神事である。こんな考え方は日本だけであり、車山も一番上に伝統的な宗教的な幣帛を付けるが、世界に一つだけのものである。是非聞きに来ていただきたい。同時に新市長の原市長の思いも語って頂く。よろしくお願いします。

・会長代行：是非参加をお願いします。続いて、犬山祭参加申し込みについて、専務理事からお願いします。

・専務理事：昨年から始まった参加申込書と、一軒１０００円の参加費をお支払いいただくということで、１８歳未満あるいは女性のみの所はお支払い不要ということになる。すべて保険の対象にもなる。面倒なことではあるが、よろしくお願いします。

・理事：申込書について、ペーパーレスを検討するということはないのか。新しく入って頂く方に書いていただくのは大事だが、昨年から更新という形の方がほとんどだと思うので、すぐにはできないかもしれないが、こう

いった個人情報的なものは、なるべく紙は無くしていく方向が良いのではないか。

・専務理事：前向きに検討させていただく。全員分はデータとして入力済みである。

・企画広報副委員長：去年出された方で、変わった方のみペーパーで出していただき、更新していくという方向の方が良いのではないかと思う。また、今回から抜けるという方も提出していただかないと、金額と人数が合わなくなるのでは。

・町内は町内として一覧として出したい。人が変わったら、新しいものにして、一枚ですむので、参加申込書〇〇組〇〇世帯という形があれば、1 人ずつ書いてもらう必要はないのでは。

・企画広報副委員長：前年から更新するのであればそれで良いが、参加するという表明的な意味もあるかと思う。

・会長代行：会員制としてやっているので、町内で何人で一括して提出という形で良いのか。町内の理事さんの手元に名簿のデータがあれば、それを出せば一番早いのでは。

・企画広報副委員長：継続の方はそれで良いが、新規で参加される方は手で署名があった方が気持ち的に良いのではないかと思う。

・企画広報副委員長：最初は紙で書いていただき登録するという形で、脱退は、脱退される方を申告していただき、データから削除するという形にして、脱退した方が再度参加される場合にはまた改めて紙で書いていただく、ということではどうか。登録する側が間違えないようにしなければならないし、一覧を見て確認すると見落としもあるので、この人は辞めます、というような形で報告していただけるのが集計する側にとっても良いのでは。

・会長代行：いただいたご意見を協議して、負担にならない形で規則に則ったシステムをご提示できるようにする。

・会長：申し込むのは町内でない方もみえるし、SNS などで個人的に会員に申し込むケースもあると思われるので、そういう流れを読んでシステム化しなければならない。

・理事：新しく参加する方の分を一、二枚書く分には問題ないが、毎年４０世帯の人全員に書いてもらって、回収して、すべて PC に打ち込んで、集計するという作業は負担が大きいので、町内で誰が参加しなくなるのかということが分かれば、一回参加して申込書を出してある人は提出はいらないということであれば、横書きでも縦書きでもどちらでも良いが、ペーパーレス化するのであれば、横書きの方が打ちやすいのでは、という意見である。手書きの場合はどちらでも良いと思う。

・会長代行：検討した上で、良い案になるように調整させていただく。

・企画広報副委員長：今の議論の方向で検討するなら、各町内に配布する参加申込書を何枚配布するかも含めて考えていく必要がある。

・理事：自町内は昨年の祭に参加しておらず、前回からのデータの引継ぎができていない。

・専務理事：ペーパーでは提出していただいているので、コピーを取りに来ていただきたい。

・会長：今の議論については、ペーパーレスのデジタル化していくという方向で出来る限りの努力をしていくという結論にしたい。お願いします。

・企画広報委員長：コロナ前の令和元年度の車山運行スケジュールを参考資料で添付させていただいた。これについては１月２２日の三委員会会同会議にて協議を始めさせていただくが、安全最優先ということで、この令和元年度のものを軸にして検討していきたい。

この春、相当な観光客に来ていただけるということを想定すると、車山を出す際の秋のぎこちなさや、数年やっていない中での色々な場面もあったので、まずは従来のものをしっかりやるという方向で議論をスタートしていきたい。てこ委員会で出た議論についても将来的に実現したいと思っているので、今回は安全最優先ということでてこ委員長の下で議論を進めていきたいと思っているのでよろしくお願いします。

・会長代行：こちらの令和元年度のスケジュールをご覧いただいた上で理事の皆様にご意見や是正点等がありましたらうかがいたい。

・熊野町：今のところは特になし。

・魚屋町：今年は駅前組になると思うが、可能であれば１３輌を夜車山で揃えることができればと思う。

・枝町：１３輌を並べることが出来れば良いと思う。

・下本町：１３輌を土曜日に神社前で並べる方向で頑張っていただけたらと思う。

・新町：ローソクや草鞋の数を数え始めたりなどしているが、議論が始まっていないので意見がまだない。

・本町：１３輌を神社前に揃えるというのは久しぶりなので、是非実現していただきたい。

・練屋町：特に意見はない。今のままでもいいのでは。

・余坂町：久しぶりに１３輌が集まった方が美しいと思う。

・名栗町：特に意見なし。２月に役員会があるのでこういった話もしていきたいと思う。

・中本町：特になし。コロナ前のような祭りがまたやれれば一番良いと思う。

・外町：祭を全然やっていないのと、新てこが入るということに併せて、子供が１１人で前後ろに張り出しを作る形になるので、できれば今までやっている形でやる方が安全ではないかと思う。ゆくゆくは１３輌で夜車山をやれれば理想だと思う。

・寺内町：コロナ禍で祭をやっていない中、運行等で危険を伴うとは思うが、１３両揃う方向でどうやったらできるかという検討をしてもいいのではないかと思う。

・鍛治屋町：例年通りの方向で良いのではと思う。三委員会で議論して具体的な案を出したうえで検討していったらとは思う。試楽の日におけるどんでん館の４町内の集合時間等や、本楽の日にどんでん館に納める事についても、話合って具体的に決めなければといけないと思う。

・専務理事：佐藤先生には愛知大学の犬山祭の調査をお願いしており、学生を連れてきてもらい色々活動してくださっている。この一年の間に報告書を作成しただく予定である。

・佐藤先生：お祭に向けて、我々教員学生ともに色々な形で協力できると思っているので、当日の協力の仕方などについてまた専務理事と打ち合わせしながら考えていきたい。よろしくお願いします。

・会長：佐藤先生は立命館大学の大学院で地理学の専門だが、祇園祭の研究者でもある。我々は絶えず原点に返り、京都の祇園のやり方を学ぶことも大事であるということで、愛知大学を拠点として研究のフィールドを広げていただいたのはありがたいことである。皆さんにも、犬山祭の全てを先生にお話ししていただきたいと思う。よろしくお願いします。

・観光課：１月２４日に企画委員会が開催されるのでよろしくお願いします。コロナの状況もあるが、安全第一で運営できればと思う。車山の運行、警備等ご相談してご協力のうえでやっていきたいと思う。

・歴史まちづくり課：市史編纂の関係で皆さんにお時間をいただいた。良いものを作っていきたいと思う。各関係部署と協力しながら審議していきたい。よろしくお願いします。

・専務理事：企画広報副委員長に作っていただいた犬山祭のチラシは、通年用のものであり、保存会が自費で製作した。観光協会の案内所やどんでん館にも置かせていただいた。町内にも置いていただけるところがあったらお願いしたい。

・てこ委員長：どんでん館にみえる鍛治屋町さんと名栗町さんは、祭礼の一週間前に車山を持って行かれるのか、当日の前なのか、早めに連絡はいただきたい。

・例年は当日町内に持って行くことで考えているが、また何かあれば改めてご連絡する。

・会長代行：次回は２月４日１９時からの開催となる。その前に三委員会合同会議等も進めていくので、祭をやる方向でしっかり頑張っていきたい。本日はありがとうございました。

●次回日時

令和４年２月４日　１９：００～

●次回場所

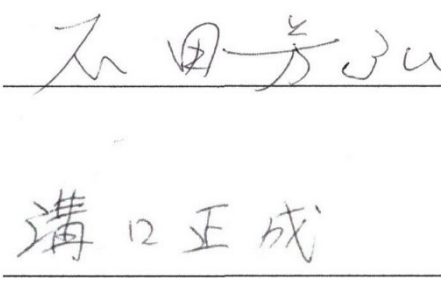
からくり館２階

●記録日

令和４年１月２８

日

●記録者

竹村

●署名